

平成29年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成30年5月

豊橋市（愛知県）

○計画期間：平成26年4月～平成31年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成29年度終了時点（平成30年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成26年4月以降、認定を受けた「第2期豊橋市中心市街地活性化基本計画」に基づき、「にぎわいの交流空間を形成するまちづくりの推進」、「回遊したくなる魅力づくりの推進」、「快適に暮らせるまちづくりの推進」の3つの基本方針のもと、全50の事業に取り組んでいる。

「にぎわいの交流空間を形成するまちづくりの推進」では、新たな魅力拠点として整備する駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業を推進するため、平成29年度には事業計画の変更や既存の建築物等の除却に着手した。また、まちなか図書館（仮称）の開館に向けた地域連携等促進事業にも取り組み、地域で活動する市民の掘り起しや地元商店街との連携など、人的ネットワークの構築を進めることができた。このようにハード、ソフトともに目に見える形で再開発事業が進展し、中心市街地内における新たなマンション建設や空き店舗の解消等の民間事業者による投資が活発に見られるようになった。

にぎわいを創出する取組では、歩行者天国やまちなかマルシェ、イルミネーション装飾等の取組を引き続き実施したほか、市民の皆様が主体的に中心市街地のにぎわいづくりに参加できる取組「まちなかピクニック」の開催や「コミュニティ活動等促進事業」にも新たに取り組み、コミュニティの形成や人材交流の基礎づくりを行うことができた。

「回遊したくなる魅力づくりの推進」では、「歩く楽しみ」という新たな魅力づくりを目的としたストリートデザイン事業において萱町通り、水上ビル（北側）の実施設計を行った。また、情報誌や散策マップの発行による魅力発信や、空き店舗対策事業による出店支援にも積極的に取組み、中心市街地のイメージや魅力向上に努めた。

「快適に暮らせるまちづくりの推進」では、再開発等による新たな住宅供給が行われなかったこともあり、中心市街地の人口は再び減少に転じた。

目標指標に対する進捗は、空き店舗が減少し目標値を上回る結果となったが、休日歩行者通行量が基準値を下回る結果となったほか、人口が前年度比で減少に転じる等、計測日の事業実施の効果や進捗状況が実績値に影響を与えたと考えている。

本市の中心市街地は、県庁所在地に近接しない地方都市でありながら、豊橋駅を中心にコンパクトなまちが形成され、物販は厳しい状況が続くものの飲食やサービス業は元気な状況であり、今後も引き続き各種事業を推進することにより、活性化の期待が持てるポテンシャルの高い地域であると考えている。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

※基準日 4月1日

（中心市街地区域）	平成25年度 （計画期間開始前年度）	平成29年度 （フォローアップ年度）
人口	9,991人	9,789人
人口増減数	▲126人	▲34人
社会増減数	—（データ抽出できず）	—（データ抽出できず）
転入者数	—（データ抽出できず）	—（データ抽出できず）

2. 平成 29 年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

計画期間が残り 1 年となり、各目標指標に対する達成の可能性についての判断がつく時期になってきた。商業・サービス業の活性化を目標としている指標である「空き店舗数」については、昨年に比べ 10 店舗も減少しており、各種事業の取り組みに一定の効果があったと評価する。

一方、「休日歩行者通行量」と「中心市街地の人口」の目標指数は、いずれも前年を下回る結果となり、目標達成は厳しい状況である。また、主要事業である豊橋駅前大通二丁目地区第 1 種市街地再開発事業、まちなか広場（仮称）整備事業及びまちなか図書館（仮称）整備事業の遅れが確定し、目標達成が厳しい状況であると推測されるが、平成 30 年 3 月の計画変更時に、休日歩行者通行量の増加を見込むために 6 事業を、中心市街地の人口増加を見込むために 3 事業を追加したことは評価できる。今後も、豊橋市の中心市街地は東三河地域の拠点である視点を持ちながら事業を着実に遂行し、にぎわいの創出とまちなか居住の促進に取り組み、目標指標が達成されることを期待したい。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
にぎわいの創出	休日歩行者通行量	56,183 人/日 (H25)	60,000 人/日 (H30)	55,366 人/日 (H29)	①	③
商業・サービス業の活性化	空き店舗数	107 店 (H24)	90 店 (H30)	87 店 (H29)	③	①
まちなか居住の促進	中心市街地の人口	9,991 人 (H25.4.1)	10,500 人 (H31.4.1)	9,755 人 (H30.4.1)	③	④

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

「休日歩行者通行量」については、再開発事業等が進行中のため事業効果が発現していないことや、計測日の実施事業である歩行者天国やその他ソフト事業の十分な効果が得られず、平成 29 年度は基準値を下回る結果であった。

なお、本指標の主要事業である豊橋駅前大通二丁目地区第 1 種市街地再開発事業及びまちなか図書館（仮称）整備事業が当初の計画より遅れが生じることが確定し、計画期間内に効果が発現しないことが見込まれるが、既存事業と平成 30 年 3 月の計画変更時に新たに追加した 6 事業を着実に実施することにより目標達成可能であると見込む。

「空き店舗数」については、再開発事業が進行する地区周辺において大幅に減少した結果、平

成 29 年度調査では、中心市街地内で 87 店と減少する結果となった。中心市街地の空き店舗の動向は、物販店の撤退が進む一方で飲食業を中心に新店需要が高いことから一進一退の状況であり、引き続き事業を実施することにより目標達成可能であると見込む。

「中心市街地の人口」については、減少傾向が続く中、平成 29 年度に新たに住宅供給を行う事業がなかったこともあり、前年度と比べ減少する結果であった。

なお、広小路一丁目南地区優良建築物等整備事業及び豊橋駅前大通二丁目地区第 1 種市街地再開発事業が当初計画より事業に遅れが生じ、計画期間内に事業効果が発現しないことから、目標達成可能と見込まれず、平成 30 年 3 月の計画変更時に新たに追加した 3 事業の実施により目標達成に向けて最大限努力していく。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

「休日歩行者通行量」については、平成 28 年度のフォローアップにおいて、歩行者天国等のソフト事業の効果により目標値を上回る通行量があり目標達成可能 (①) と見込んでいたが、平成 29 年度に豊橋駅前大通二丁目地区第 1 種市街地再開発事業の進捗に遅れが生じることが確定し、最新値が前年度比 9,314 人減となったため評価を③に変更した。

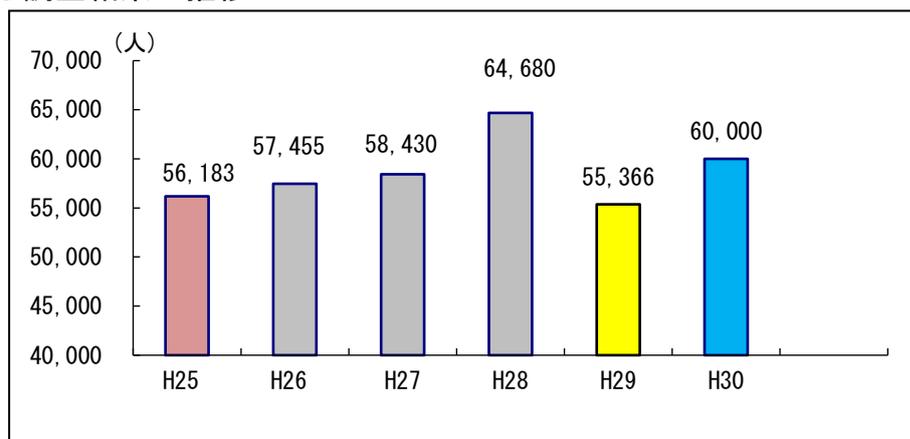
「空き店舗数」については、平成 28 年度フォローアップにおいて、取組の状況及び最新値が予定通りではなく (③) と見込んでいたが、平成 29 年度は、まちなかインキュベーション&チャレンジ事業において補正予算対応を行うなど積極的に空き店舗の解消に努めたことから、実績値が前年度比 10 店の減となったため評価を①に変更した。

「中心市街地の人口」については、平成 28 年度フォローアップにおいて、取組の進捗状況が予定通りではなかったが、最新値の人口が増加に転じたことにより目標達成可能 (③) と見込んでいた。平成 29 年度の実績値は、前年度比 34 人の減となり、豊橋駅前大通二丁目地区第 1 種市街地再開発事業の進捗の遅れが確定したことから評価を④に変更した。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「休日歩行者通行量」※目標設定の考え方基本計画 P50～P53 参照

●調査結果の推移



※調査方法：中心市街地通行量調査

※調査月：平成 29 年 5 月（日曜日）、11 月（日曜日）

※調査主体：豊橋市

※調査対象：歩行者及び自転車通行量

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 豊橋駅前大通二丁目地区第1種市街地再開発事業

(豊橋駅前大通二丁目地区市街地再開発組合)

事業完了時期	平成 26 年度～【実施中】
事業概要	狭間児童広場、名豊ビル、開発ビル等のリニューアルを図り、商業・業務・住宅機能とまちなか広場（仮称）やまちなか図書館（仮称）を含む公共公益機能を一体的に整備し、本市の中心市街地のにぎわいの創出を図る。なお、当事業は東街区と西街区に分けて整備を行う。
事業効果及び進捗状況	<p>本事業及びまちなか広場（仮称）整備事業とあわせて歩行者通行量は 4,966 人の増加を見込んでいる。</p> <p>社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業）を活用している。</p> <p>平成 29 年度 事業計画の変更、建築物等の除却</p> <p>なお、設計等の事業内容の見直しや調整等に時間を要したことから進捗に遅れが生じ、計画期間内における事業効果の発現は見込めない。</p> <p><今後のスケジュール></p> <p>平成 30 年度 東棟建築工事</p> <p>平成 33 年度 東棟竣工、西街区解体着工</p> <p>平成 36 年度 西棟竣工</p>

②. まちなか広場（仮称）整備事業（豊橋市）

事業完了時期	平成 26 年度～【実施中】
事業概要	狭間児童広場及び旧バスターミナル施設を市街地再開発事業において再整備をおこない、各種イベント等に対応可能な機能及び緑化機能を配置する。
事業効果及び進捗状況	<p>本事業及び豊橋駅前大通二丁目地区第1種市街地再開発事業により歩行者通行量は 4,966 人の増加を見込んでいる。</p> <p>社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（都市再構築戦略事業（人口密度維持タイプ）））を活用する。</p> <p>なお、当事業は豊橋駅前大通二丁目地区第1種市街地再開発事業と一体的に整備するものであり、同事業の進捗の遅れにより、計画期間内における事業効果の発現は見込めない。</p> <p><今後のスケジュール></p> <p>平成 30 年度 建築工事</p> <p>平成 33 年度 竣工</p>

③. まちなか図書館（仮称）整備事業（豊橋市）

事業完了時期	平成 26 年度～【実施中】
--------	----------------

事業概要	駅前大通二丁目地区市街地再開発事業において、当該地区の拠点性を高め、中心市街地の一層のにぎわいの創出とステイタス向上を図るため、新たにまちなか図書館（仮称）を整備する。
事業効果及び進捗状況	<p>本事業により歩行者通行量は2,662人の増加を見込んでいる。</p> <p>社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（都市再構築戦略事業（人口密度維持タイプ）））を活用する。</p> <p>平成29年度 地域連携等促進事業の実施</p> <p>本事業は豊橋駅前大通二丁目地区第1種市街地再開発事業と一体的に整備するものであり、同事業の進捗の遅れにより、計画期間内における事業効果の発現は見込めない。</p> <p><今後のスケジュール></p> <p>平成31年度 実施設計</p> <p>平成32年度 内装工事</p> <p>平成33年度 開館</p>

④. まちなか情報発信の強化（豊橋市・豊橋まちなか活性化推進協議会）

事業完了時期	平成24年度～【実施中】
事業概要	ホームページ「豊橋まちなか情報ステーション」や様々な魅力的なイベントを掲載したチラシの発行により、まちなかのホットな情報を発信する。
事業効果及び進捗状況	<p>本事業により歩行者通行量は175人の増加を見込んでいる。</p> <p>平成29年度 イベント合同チラシ 25,000部発行</p> <p>ホームページのアクセス件数 342,616件</p>

⑤. 拠点公共施設と魅力あるまちなか店舗との連携事業（豊橋市）

事業完了時期	平成25年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の拠点となる公共施設において、まちなかの店舗等の情報を入手できるようにし、まちなか店舗に施設利用者を誘導する。
事業効果及び進捗状況	<p>本事業及び元気・魅力店舗見える化&ネットワーク事業により歩行者通行量は1,684人の増加を見込んでいる。</p> <p>平成29年度「店舗情報コーナー」参加店舗数 47店</p> <p>平成29年度「豊橋まちなかモノ語りマップ」発行（5,000部発行）</p>

⑥. 元気・魅力店舗見える化&ネットワーク事業
（豊橋市）（株式会社豊橋まちなか活性化センター）

事業完了時期	平成26年度～【実施中】
事業概要	元気で魅力的な店舗を応援するため、中心市街地でがんばる魅力的な

	店舗の情報を発信するとともにそれらのネットワーク化を推進し、情報共有や顧客の紹介実施等の支援を行う。
事業効果及び進捗状況	本事業及び拠点公共施設と魅力あるまちなか店舗との連携事業により歩行者通行量は1,684人の増加を見込んでいる。 平成29年度 「魅力満店まち歩きマップ」の発行回数2回（4月・8月） 発行部数 各5,000部

⑦. 【平成29年度追加】とよはしクリスマスマーケットの開催（豊橋市）

事業完了時期	平成27年度～【実施中】
事業概要	豊橋市のパートナーシティ・ドイツのヴォルフスブルグ市との交流にちなみ、豊橋駅南口駅前広場において、クリスマスマーケットやまちなか店舗と連携した販促活動を実施する。
事業効果及び進捗状況	平成29年度 3日間開催 来場者数延19,600人 イベント開催による集客効果のほか、周辺地区のにぎわいや回遊性の向上に寄与した。

⑧. 【平成29年度追加】ええじゃないかとよはし映画祭事業（豊橋市）

事業完了時期	平成28年度～【実施中】
事業概要	市外の若年層に対して豊橋市の認知とイメージ向上を図るため、愛知・豊橋ゆかりの映画作品の上映や映画関係者によるカンファレンスを行う。
事業効果及び進捗状況	平成29年度 3日間開催 参加者数2,509人 市内外から参加があり、特に40代以下の世代が約70%を占めた。また、参加者へ配布したロケ地マップ等を活用され、中心市街地への回遊が進み、にぎわいの向上につながった。

⑨. 【平成29年度追加】ガクセイ魅力デジタルマップづくり（豊橋市）

事業完了時期	平成29年度～【実施中】
事業概要	若年層や観光客などの来街者の増加を図るため、中心市街地の魅力を若者目線で発信するマップを制作し、豊橋駅のデジタルサイネージやホームページで発信する。
事業効果及び進捗状況	平成29年9月・12月 2回開催 参加人数24人 まち歩きを行いながらデジタルマップを制作し、ホームページ「みてもりん」等で公表することにより中心市街地の魅力を発信した。

⑩. 【平成 29 年度追加】コミュニティ活動等促進事業（豊橋市）

事業完了時期	平成 29 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の魅力向上や活性化につながるコミュニティ等の活動を支援する。
事業効果及び進捗状況	平成 29 年 9 月にコミュニティ施設「みずのうえビジターセンター」を開設し、地域情報の発信やワークショップ等の開催により、にぎわいを創出した。

⑪. 【平成 29 年度追加】まちなかピクニック事業（豊橋市）

事業完了時期	平成 29 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の公共空間を活用した市民等による自主的な活動を促進し、新しいまちの魅力づくりを行うためのイベントを開催する。
事業効果及び進捗状況	平成 30 年 3 月 来場者数延約 2,000 名 イベント開催による集客効果のほか、将来のにぎわいづくりの担い手となる 25 名の出店者が駅前広場の使い方を学びながら交流を深めた。

⑫. 【平成 29 年度追加】豊橋まちゼミの開催（豊橋市）

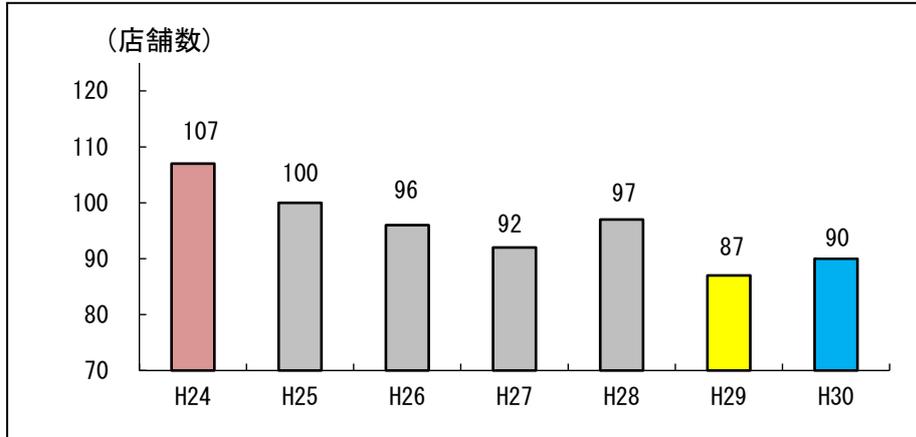
事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の店舗とまちなかのファンづくりを行うため、店主等が講師となり、専門知識等をお客様に伝えるミニ講座「まちゼミ」を実施する。
事業効果及び進捗状況	平成 29 年 9 月・平成 30 年 3 月 2 回実施 参加者延約 380 名の集客効果があったほか、店舗の存在や特徴を知ってもらうことができ、店舗の顧客づくりにつながった。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業の進捗に遅れが生じているが、継続的に取り組んできているソフト事業の効果や平成 30 年 3 月の計画変更時に追加した新規事業を実施する効果により目標達成は可能だと考えている。平成 29 年度の実績が基準値を下回る結果となった要因としては、駅前大通二丁目地区での再開発事業の進展に伴い商業ビルが完全閉館となり、当エリア周辺における通行量が大幅に減少したことが考えられる。今後は、にぎわい創出の効果をより一層高めるため、中心市街地で開催されるイベント等の開催日を調整しながら実施するとともに、会場間を行き来する仕掛けを行うなど集客効果や回遊性を高めるための連携を図りながら各種事業を推進し実績を伸ばしていきたい。

「空き店舗数」 ※目標設定の考え方基本計画 P54～P55 参照

●調査結果の推移



年	(単位)
H24	107 店 (基準年 値)
H25	100 店
H26	96 店
H27	92 店
H28	97 店
H29	87 店
H30	90 店 (目標値)

※調査方法：現地調査、毎年 3 月に実施

※調査月：平成 30 年 3 月

※調査主体：株式会社豊橋まちなか活性化センター

※調査対象：中心市街地 商業・サービス業重点地区内の店舗

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 商店街空き店舗対策事業（豊橋市・株式会社豊橋まちなか活性化センター）

事業完了時期	平成 12 年度～【実施中】
事業概要	空き店舗の情報提供とともに出店意欲のある事業者を支援し、商店街全体の魅力向上を図る。
事業効果及び進捗状況	計画期間中に 10 店舗の空き店舗解消を図る。 平成 28 年度までに 9 店舗の空き店舗を解消した。 平成 28 年度よりまちなかインキュベーション&チャレンジング事業に補助事業を統合した。

②. テナントコンバートチャレンジ事業

（豊橋市）（株式会社豊橋まちなか活性化センター）

事業完了時期	平成 26 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地において事業継続が困難な店舗等を消費者のニーズに応えるような店舗に入れ替え、魅力ある商業店舗の集積を図る。
事業効果及び進捗状況	平成 27 年度に 10 年以上空き家となっていた物件で親子カフェを開店した。

③. まちなかインキュベーション&チャレンジング事業

（株式会社豊橋まちなか活性化センター）

事業完了時期	平成 26 年度～【実施中】
--------	----------------

事業概要	まちなかにおける新規開業者等の育成、出店への意欲を高めるため、短期間の出店に対し補助を行う。
事業効果及び進捗状況	計画期間中に4店舗の空き店舗解消を図る。 平成29年度 空き店舗の解消実績 7店舗

④. 豊橋駅前大通三丁目地区優良建築物等整備事業（優良建築物等整備事業施行者）

事業完了時期	平成28年度【済】
事業概要	低層部に商業・業務機能を配置し、中高層部には住宅機能を配置する。
事業効果及び進捗状況	社会資本整備総合交付金（優良建築物等整備事業）H25～H28を活用した。 平成28年度の事業完了に伴い、当初計画通り空き店舗1件が解消された。

⑤. 豊橋広小路三丁目A-2地区優良建築物等整備事業
（豊橋広小路三丁目A-2地区優良建築物建設組合）

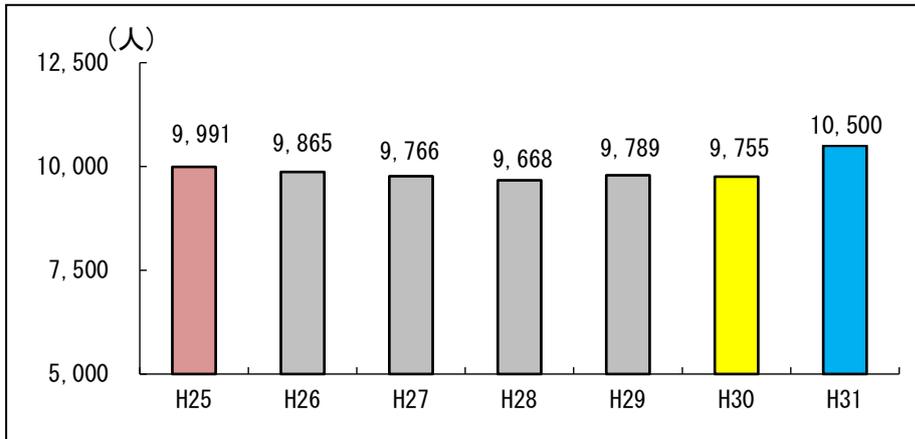
事業完了時期	平成26年度【済】
事業概要	低層部に商業機能を配置し、中高層部には高齢者や環境に配慮した多様なライフスタイルに対応した都市型住宅の整備を行う。
事業効果及び進捗状況	平成26年度の事業完了に伴い、空き店舗1件が解消された。当初計画では、空き店舗2件の解消を予定していたが、1店舗分のテナントの入居がなく空き店舗状態が続いている。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しているため、目標達成は可能だと思われる。豊橋駅から離れた地区では物販店等の撤退により空き店舗が増加したが、再開発事業が行われている地区周辺では減少する結果となった。平成29年度は「まちなかインキュベーション&チャレンジング事業」において積極的に空き店舗の解消を図ったこともあり、中心市街地全体では大幅に減少する結果となった。今後は、新たに追加した「都心居住促進事業」による空き家・空き店舗ツアーの実施や（株）豊橋まちなか活性化センターとの定期的な情報交換により事業者への速やかな対応をとることで空き店舗解消の実績を伸ばしていきたい。

「中心市街地の人口」 ※目標設定の考え方基本計画 P56～P57 参照

●調査結果の推移



年	(単位)
H25	9,991 人 (基準年 値)
H26	9,865 人
H27	9,766 人
H28	9,668 人
H29	9,789 人
H30	9,755 人
H31	10,500 人 (目標値)

※調査方法：住民基本台帳

※調査月：平成 30 年 4 月

※調査主体：豊橋市

※調査対象：中心市街地の区域に属する 37 行政町別人口

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 豊橋駅前大通三丁目地区優良建築物等整備事業（優良建築物等整備事業施行者）

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	低層部に商業・業務機能を配置し、中高層部には住宅機能を配置する。
事業効果及び進捗状況	社会資本整備総合交付金（優良建築物等整備事業）H25～H28 を活用した。当事業の効果当初計画で 165 人の増加と見込んでいたが、住宅戸数の見直しが行われたため、平成 28 年度の事業完了により約 200 人の増加が図られた。（推計）

②. 豊橋広小路三丁目 A-2 地区優良建築物等整備事業
（豊橋広小路三丁目 A-2 地区優良建築物建設組合）

事業完了時期	平成 26 年度【済】
事業概要	低層部に商業機能を配置し、中高層部には高齢者や環境に配慮した多様なライフスタイルに対応した都市型住宅の整備を行う。
事業効果及び進捗状況	社会資本整備総合交付金（優良建築物等整備事業）H24～H26 を活用した。当事業の効果当初計画で 84 人の増加と見込んでいたが、平成 26 年度の事業完了により約 70 人の増加が図られた（推計）

③. 豊橋広小路一丁目南地区優良建築物等整備事業（個人施行）

事業完了時期	平成 27 年度～【未】
事業概要	低層部に商業施設を配置し、中高層部に良好な都市型住宅の供給を行う。
事業効果及び進捗状況	社会資本整備総合交付金（優良建築物等整備事業）の活用を検討。なお、権利者の合意形成に至っておらず事業の着手が出来ていない状況であり計画期間内の事業効果の発現は見込めない。

④. 豊橋駅前大通二丁目地区第 1 種市街地再開発事業
（豊橋駅前大通二丁目地区市街地再開発組合）

事業完了時期	平成 26 年度～【実施中】
事業概要	狭間児童広場、名豊ビル、開発ビル等のリニューアルを図り、商業・業務・住宅機能とまちなか広場（仮称）やまちなか図書館（仮称）を含む公共公益機能を一体的に整備し、本市の中心市街地のにぎわいの創出を図る。なお、当事業は東街区と西街区に分けて整備を行う。
事業効果及び進捗状況	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業）を活用している。 平成 28 年度は施設建築物実施設計を行った。本事業の実施により、438 人の人口増加が見込まれている。 平成 29 年度 事業計画の変更、建築物等の除却 なお、設計等の事業内容の見直しや調整等に時間を要したことから進捗に遅れが生じ、計画期間内における事業効果の発現は見込めない。 <今後のスケジュール> 平成 30 年度 東棟建築工事 平成 33 年度 東棟竣工、西街区解体着工 平成 36 年度 西棟竣工

⑤. 【平成 29 年度追加】コミュニティ活動等促進事業（豊橋市）

事業完了時期	平成 29 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の魅力向上や活性化につながるコミュニティ等の活動を支援する。
事業効果及び進捗状況	平成 29 年 9 月にコミュニティ施設「みずのうえビジターセンター」を開設し、地域情報の発信やワークショップ等の開催により、にぎわいを創出した。

⑥. 【平成 29 年度追加】都心居住促進事業（豊橋市）

事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
--------	----------------

事業概要	空き家や空き店舗の利活用を促進するため、中心市街地における空き家・空き店舗ツアーや建築士会や不動産業者との情報交換等を行う。
事業効果及び進捗状況	平成 29 年 11 月に建築士会の協力のもと、空き家・空き店舗ツアーを実施し、13 名の参加があり中心市街地に点在する 8 か所 11 件の物件を見学した。

⑦. 【平成 29 年度追加】民間事業者による住宅整備（民間事業者）

事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	再開発事業や公共公益施設の整備等により中心市街地の魅力が高まるとともに、老朽化した店舗の建替え需要により民間事業者による住宅整備が行われる。
事業効果及び進捗状況	平成 29 年度 4 月に中心市街地内において民間事業者による事務所併用共同住宅 1 棟の新築工事に着手した。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業の進捗に遅れが生じており、計画期間内の事業効果の発現が見込めないことから目標達成は厳しい状況である。平成 29 年度については、新たに住宅を供給する事業がなく前年度比 34 人の減少となった。豊橋駅前大通二丁目地区第 1 種市街地再開発事業の既存の建築物等の除却がはじまるなど事業進捗が目に見えるようになり、中心市街地内では民間事業者によるマンションやアパートの建設が行われる等、投資の動きが見られるようになった。今後は、平成 30 年 3 月の計画変更時に追加した事業の実施効果のほか、新たな居住者をまちなかに呼びこむため都心居住促進事業の拡充も検討し目標達成に向けて最大限努力していきたい。